

メディアの新潮流とスポーツ

New currents in media and their relationship to sport

1K03B206-8

氏名 横塚聡

指導教員 主査 リー・トンプソン 先生 副査 菅田雅彰 先生

1. 本研究の動機

私たちは、スポーツの情報をマスメディアから得て、それを元にスポーツについて論じる。スポーツとマスメディアの関係性は深く、まさに蜜月の関係を紡いできた。

しかし、メディアが大きく変化しようとしている。個人が情報発信することが出来るウェブメディアの誕生である。

ウェブメディアはスポーツ以外のところで、大きく取り上げられるところとなり、梅田望夫の「ウェブ進化論」など多数の著書が出ている。しかし、スポーツと新しいウェブメディア、特にブログや SNS を中心とする web2.0 の関係について取り上げられることが少ないのが現状である。よって、新興のメディアである web2.0 がいかにスポーツに影響を与えているかということに興味をいだいた。

また、その多数の著書や、言説の特徴として、ウェブメディアとマスメディアの対立的な関係が描かれることが多いが、果たして、ウェブメディアとマスメディアがスポーツにおいてどのような関係を紡いでいるか、本当に対立的な関係であるのかということが気になり研究テーマとした。

2. 本研究の目的、及び方法

本研究の目的は、ウェブメディアとマスメディアがスポーツに与えている影響を考えることで、両者の関係性を明らかにすることである。

そのために、スポーツファンの態度形成について考え、その中で、マスメディア及びウェブメディアがどのような影響を与えているのかを考えた。

また、本研究は文献研究による。

3. 各章の要約

1章 メディアからの情報が、どのようにスポーツファンの態度形成に影響を与えているか、また、メディアからの情報は、どのようなプロセスを踏んで、我々の意識に働きかけるかということに関して、消費者情報処理アプローチを用いて検証した。

スポーツファンは外部刺激となりうるマスメディアからの限られた情報を周りの準拠集団と共有することによって深めていくということが分かる。

2章 マスメディアの果たしてきた役割、そしてスポーツに対しての影響について述べた。

マスメディア誕生は、そもそも「孤独な群集」たる民衆に対して、画一的なメッセージを送ることで、彼らを情報の面でひとつにまとめあげ、大衆が生まれる土壌を作った。そして、新聞からラジオ、ラジオからテレビと技術革新が進むことで、世界の出来事は同時性を有することとなり、ますます、画一化が進んだ。

マスメディアの特徴は、この画一性による大衆をひとつにまとめあげる力、そして、「場」の希少性であることを述べた。

そして、スポーツにおいてもその画一化は見られる。

3章 ウェブメディアに関して、その特徴と影響について述べた。特に、新興のメディアである web2.0 に関して述べた。

Web2.0 の特徴は、マスメディアの画一性に対しての、多様性であり、「場」が無限に存在することがあげられるということを描いた。

4章 以上のマスメディアとウェブメディアの違いを踏まえてこの2つの関係性について考察した。

考察に当たっては、同じ所沢市に本拠地を持つ、西武ライオンズと埼玉ブロンコスと比較した。比較内容は、SNSでのコミュニティの層の違い、ブログにおける両者の取り上げられ方についてである。

4. 本研究のまとめ

確かに、影響という面では、マスメディアは民衆を画一化する影響を持つことに対して、ウェブメディアは、民衆の多様化を促す。その点においては、ウェブメディアとマスメディアは互いに対立的なものである。

しかし、スポーツという一次情報が限られるものに関してはその関係性は異なる。

むしろ、その関係性は対立的ではなく、相互補完的な様相を呈する。

ウェブメディアはマスメディアの発展によって、支えられているものであるからこそ、お互いの関係をより強固なものとするべきである。